

社会開発委員会

委員長 重松 崇之

所信

時代に先駆けた斬新で優れた事業を構築するためには、まずは、委員会メンバー一人ひとりが持てる能力を存分に発揮できる環境をつくるのが大切だと考えます。そのために、①生の声を聴くこと、②時間を大切にすること、③課題は全員で克服するようにすること、④一人ひとりを全力で支えること、の4つを肝に銘じて委員会運営に当たります。これらの「基本」を常に意識し、一人ひとりが心から楽しめ、やりがいを感じられる委員会運営を実現してまいります。

そして、事業そのものや事業構築過程全体を通じてメンバー全員の魅力と資質の向上を図るよういたします。年度初めの事業となる新年互礼会では、岸和田J Cの運動方針等を明確に打ち出し、わかりやすく事業報告を行い、メンバー全員の団結を図って、以後の岸和田J Cの運動に弾みをつけます。6月に開催する青経塾では、岸和田の経済を牽引する青年経済人の育成に資すると共に地域の課題の克服に役立つ事業を実施します。年度最終事業となる卒業式は、卒業生と、岸和田J Cのこれからを担うメンバーとの絆が、未来にも続くような、意義深く、思い出に残る事業にいたします。

さらに、いずれの事業についても、時代に先駆けた斬新なアイデアを積極的に採用し、その実現に果敢に挑戦してまいります。

また、本年度創立65周年を迎える岸和田J Cの周年事業にも参画し、委員会を挙げて、万難を排して、これを成功に導く所存です。

最後に、国の内外から聞こえてくる悲惨なニュースに心が痛まない日はないですが、本年度は「65th fast innovation」～想像した未来は必ず創れる～のスローガンの下、明るく豊かな社会の実現を願い、想像し、断じて挫けず、諦めず、自分自身と仲間を信じ抜いて、1年間、全力で邁進してまいります。

以上